

国際社会学部

経済学（国際関係コース）

economics



どのような学問か

私たちは日々の生活の中で（意識するしないに関わらず）経済活動を営んでいます。グローバル化した世界に生きる今日、経済活動は国内的にも国際的にも複雑化しているように見えます。経済学は、こうした様々な経済現象の構造と機能を理解するための分析フレームワークを提供するものです。経済モデルの役割は、現実世界を抽象化することによって、複雑で多種多様な経済の特徴をできるだけ簡明に表現することにあります（よく誤解されますが、お金儲けのための学問では決してありません）。個人・企業・政府の資源配分に関する意思決定メカニズムを分析するミクロ経済学、経済全体の動きを捉えようとするマクロ経済学を基礎とし、様々な経済事象に特化した応用経済学（国際経済学、労働経済学、（国際）金融論、ゲーム論、環境経済学、公共経済学、開発経済学など）があります。

外大における経済学

本学の国際社会学部国際関係コースでは、入門科目（1年次～）としてすべての経済学の基礎となるミクロ経済学とマクロ経済学を提供しています。応用経済学分野として、2年次の概論科目で国際経済学（国際貿易論、国際金融論）を学ぶことができます。3年次以降の専門科目では、国際関係コース所属の4名の経済学専任教員のもとで開発経済学（開発途上国の経済発展を扱う）、国際金融論（各国や国際市場の動きを扱う）、ゲーム理論（人、組織、国などの戦略的意思決定を扱う）とその関連分野について学ぶことができます。また、データを用いてさまざまな経済事象の因果関係を分析する計量経済学の基礎を学ぶこともできます。

関連する授業一覧（2023年度）

- 「ミクロ経済学入門」（菊地和也）
- 「マクロ経済学入門」（入谷聡子）
- 「貿易と直接投資」（田島陽一）
- 「国際金融概論」（出町 一恵）
- 「東アジアの経済発展と開発経済学」（田島陽一）
- 「ラテンアメリカの経済発展と開発経済学」（田島陽一）
- 「開発経済学」（内山直子）
- 「ラテンアメリカの所得格差と開発」（内山直子）
- 「国際経済学I, II」（出町 一恵）
- 「ゲーム理論I, II」（菊地和也）
- 「マクロ経済学I, II」（二羽秀和）
- 「計量経済学入門」（竹内明香）

ゼミ

- 内山直子（ラテンアメリカ・開発経済学）
- 菊地和也（ゲーム理論）
- 田島陽一（異端派経済学・開発経済学）
- 出町 一恵（国際経済論）

関連する学問分野

- 国際協力論
- 統計学

おススメの本

- 『幸せのための経済学』（岩波ジュニア新書）
- 『経済学を味わう：東大1、2年生に大人気の授業』（日本評論社）
- 『国際協力ってなんだろう—現場に生きる開発経済学』（岩波ジュニア新書）
- 『入門開発経済学：グローバルな貧困削減と途上国が起こすイノベーション』（中公新書）
- 『高校生からのゲーム理論』（ちくまプリマー新書）

